

県勢初の金メダル・夢と感動をありがとう!!



本市出身の喜友名諒選手が、東京2020オリンピックの空手男子形で県勢初の金メダルを獲得したことを受け、8月16日、市役所庁舎前市民広場で祝勝セレモニーが行われ、市職員からお祝いの花束が手渡されました。

桑江市長は「金メダルの獲得、誠におめでとうございませす。空手発祥の地である沖縄、

そして沖縄市から金メダリストが誕生したことは、この上ない喜びであり、私たちの誇りであります。これからも空手道に歩み、子どもたちの夢と希望の柱になってほしいと思います」とお祝いの言葉を述べました。

喜友名選手は「数えきれないほどのたくさんの方々の支えがあり、みんなで獲ることができた金メダルですので、すごく重みがあり、感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を、次の世代を担うこともたちへ伝えていけるように精進いたします」と思いを語りました。

師匠の佐久本嗣男氏は「空手には、沖縄空手、競技空手等がありますが、空手の心は一つです。誠心誠意、礼と節、平和、そこにつながればいいと思います

す。それを喜友名選手が見事にやっつてのけました。あっぱれ」と喜友名選手を称えました。セレモニー終了後には、世界でのさらなる活躍を祈念して、桑江市長から喜友名諒選手へ沖縄市スポーツ国際大会等出場奨励金が手渡されました。

喜友名諒選手、本当におめでとうございませす!!

【喜友名諒選手のプロフィール】

1990年7月生まれ、沖縄市出身。5歳で空手を始め、沖縄東中3年で劉衛流龍鳳会に転向して佐久本嗣男氏に弟子入り。全日本選手権9連覇、アジア選手権4連覇、世界選手権3連覇中。東京2020オリンピック金メダル。2018年2月を最後に国際大会無敗。



4大会連続出場、2つのメダル獲得



「撮影 吉村 もと」

本市出身の上与那原寛和選手が、東京2020パラリンピック陸上男子車いすT52の400メートルと1500メートルで、2つの銅メダルを獲得したことを受け、9月7日、市役所庁舎前市民広場で、祝勝セレモニーを行いました。

上与那原選手と上与那原寛和選手後援会の眞島長治会長は、市職員からお祝いの花束を手渡され、職員や市議会議員等が作った花道を通り、式典会場に到着しました。

上与那原選手は「応援してくれる多くの方々のおかげで、形あるメダルを獲ることができた。自分の姿を見て、一歩でも踏み出したいと思ってくれる人がいれば幸い。勝負ができる間は、挑んでいくので、応援よろしくお願いします」とこれからの目標やメダルを獲った嬉しさを語りました。

セレモニー終了後には、挑み続ける上与那原寛和選手へ桑江市長から沖縄市スポーツ国際大会等出場奨励金が手渡されました。

上与那原選手、おめでとうございます！更なるご活躍をお祈りいたします!!

【上与那原選手のプロフィール】

1971年5月生まれ、沖縄市出身。脊損事故によるリハビリの一環として、車椅子マラソンに参加。その後、多くの大会で数々の新記録を打ち立てる。

2008年に行われた北京パラリンピックで銀メダルに輝き、それから4大会連続出場。東京2020パラリンピックでは、見事2つの銅メダルに輝いた。



「撮影 吉村 もと」

